

勝山図書館の成り立ち

明治39年12月 郡会において図書館設置の議が起こる。それにもない、
山口県阿武郡立萩図書館他各地の図書館の現状を調査。

明治40年4月 郡会の議を経て、文部大臣より認可される。

同年9月13日 郡立真庭図書館として開館する。
(真庭高等小学校校舎を勝山町より真庭郡に寄附。)
郡内各町村へ廻送書庫を置き、図書を分置して住民の便を
図った。

大正12年 郡制廃止にもない、私立真庭図書館として運営される。

昭和27年 町立勝山図書館として出発、この時の蔵書数は2,558冊。

昭和43年 勝山公民館の新築にもない館内に移転、現在に至る。

平成30年3月31日閉館予定

同年夏頃、真庭市立中央図書館として開館予定。

廻送書庫



この箱に図書を入れて
各村を巡回した

出典 『勝山町史後編』



真庭市立中央図書館が目指す図書館像

子どもの成長に役立つ図書館

子どもの感性や人間性を育む読書活動を支援します。

人づくりに役立つ図書館

市民の課題解決と主体的な学習を支援する情報を提供します。

暮らしに役立つ図書館

生活上の問題を解決するために健康・医療情報、法律情報、
行政施策等の情報を提供します。

地域おこし、まちづくりに役立つ図書館

就労支援、ビジネス支援に関する情報を提供します。

文化振興に役立つ図書館

蔵書等を活用し様々な文化や芸術作品に出会う機会を提供します。

真庭市立中央図書館基本構想より

110年の歴史を背負い



さようなら真庭市立勝山図書館

〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1819-6 TEL 0867-44-2012

toshokan_ky@city.maniwa.lg.jp